

# 灯



口に行列ができるのも珍しくはなかつた。

しかし、最近では町を挙げての動きとなり、拠点といえるところも随分と広がりを見せるようになった。すなわち九州最古

の真宗寺院建築として本

二十数年前、豆田町の町おこしに二役買うつもりで始まったわが家のひな祭りも、今では全

り来の

土曜日版の何でもランキング「散策したい蔵の街並み」で日田が西日本第二位にランクインしたのもさまざまな努力を積み重ねた成果といえる。

観光に來られる方もわが家のひな祭りだけでなく、豆田町という観光エリアを自当てに來られる人が多くなったと感じられる。行列ができなくなったのも地域の観光が点から面へと成熟しつつある結果であろう。

当初ひな人形を観光資源にしたのがわが家だけだったことを考えれば隔世の感がある。今年

祭りの  
なひと  
のしこ  
町おこ  
豆田町



草野 義輔

始めた様に主役を譲り先般終了した。

ここ数年のひな祭りを振り返

これからは豆田地域の観光にかかわる一人一人が、エリアの一員として一段と自覚と責任を

つてみると明らかに以前とは異なる印象を感じている。かつて

堂が国の重文となった長福寺、

深め、連携を強化することがで

は豆田町の観光、特にひな祭り

県知事の生家でもある広瀬資料

きるかが極めて重要だ。その場

では手前みそながら草野本家の

館、酒蔵資料館として人気の薫

しのぎの対応では町おこしの未

ひな祭りが主役だったように思

館や割烹旅館若野屋などがあげ

来は開けない。

う。入場者も多く、土日は入り

られる。昨年秋の日本経済新聞

(日田市昭和学園高校理事長)

う。入場者も多く、土日は入り

られる。昨年秋の日本経済新聞

(日田市昭和学園高校理事長)